

皆さんお元気ですか。

2017年3月の出来事を綴っています。ご笑覧くださいませ。



3月19日、道場長の Anibal 先生が、道場幹部に相談したいことがあるので、ミーティングを持って欲しいとのこと。いつものように、私の家でパンケーキを食べながらのミーティングをした。議題は、当道場の T シャツをつくるか。五月にプエルトリコの合気道先生 (Mario 先生) を招待してセミナーを実施するか。道場の生徒を増やすためのプロモーションをどうするか。前述の2つの議題は、Anibal 先生以外は賛成できないとして、却下された。その理由は、当道場に予算がない。今年から月謝を徴収しているが、まだ 300 ドルくらいしか貯金していない。生徒数は増えてきたが、月謝 (10 ドル) を払ってくれる人がすくないとのこと。最後の議題で、プロモーションについて、一人の幹部が長々案を述べたが、この人は、ほとんど稽古にきたことがない。私はまだスペイン語が理解できななので、発表者が何を言っているのか、理解できなかったので、隣の席にいる別の幹部に今彼女は、何をいったの、と尋ねた。そしたら、彼も理解できないといった。こちらの人は、一人で長い話をしたが、中身がないように思う。



3月30日、夜の稽古に道場に行ったら、今夜はこの小ホールは使えないので、大ホールを使ってくれと管理者に言われた。今夜は、この小ホールで、母親の出産前パーティが行われるとのことだった。こちらでは子供が生まれる前に、パーティを開いて、ベビー用品などを贈るとのことだ。母親は、出産前に子供の性別を医者に聞きたい。小ホールの玄関や内側には色とりどりの風船が飾られていた。こちらの人は、本当に風船がすきだ。展示会場にもよく飾られている。なぜ風船が飾られるのか、生徒に尋ねたら、特に意味はないけど、子供たちが好きだからだとのこと。この小ホールは、普段あまり利用されていないが、なぜか個人の誕生パーティとしてよく利用されている。もっと、公共のために、市民のために利用してほしいと思うのだが。こういうところが、この共産国の特徴で、サンディニスタ政権の関係者しか使えないのかもしれない。しかし、この国の人は、こまめに誕生日を祝う。他のことは余りしないにも関わらず。



4月2日、ハポニカピック（運動会）に参加した。この運動会は、JICAの青年隊員と日本大使館員との合同で企画運営された。参加者は、主にニカラグア在住の邦人と関係するニカラグア人が招待された。150人ほどが集まった。朝8時からの開始だが、もうすでに日差しが強くて、開会式は運動場ではなく、日陰のある観客席で行われた。種目は、借り物競争、オセロゲーム、リレーなどが行われた。私は一番運動量の少ないオセロゲームに参加した。この競技は、2チーム（赤と黄チームなど）に分かれて、運動場に置かれた50センチ四方の、表が黒色、裏が白色の紙片を各チームで決められた色にめくっていき、最後に多い色のチームが勝ちとなる。このゲームは、頭を使わない簡単なゲームだけど、結構体力がいる。自分がめくった紙は、数秒のうちに相手チームにひっくり返されてしまう。ゲーム終了の数秒前が勝敗のカギとなる。結構疲れたが楽しかった。運動会の最後は、ニカラグアの日本語学生（ニカラグア人）による沖縄の踊りが披露された。いい運動会だった。



4月7日、ニカラグア日本友好公園内の小ホールで合気道の稽古を7時半ごろ終えた。いつもならこの時間になると閉園なので、電灯が消され暗くなるのだが、今晚は、大ホールで何やら騒がしかった。大ホールの中を覗いてみて、驚いた。テレビ局が入っていてまるでカーニバルのようなステージで生中継していた。各地方から来たダンサーたちが派手な衣装で踊っていた。そして、ステージの前の席には、ダンサーの応援者らしい人たちが、鳴り物をもって応援していた。会場は、鼓膜が破れそうな爆音が鳴り響いていた。私は、一人のダンサーに近づいて行き、カメラを向けると、まだ何も言ってないのに、私を撮ってもいいよ、と言わんばかりに、ポーズをしてくれた。この女性は、キッと十代だと思う。ニカラグアの十代の女性は本当にスラッとしていて、色っぽくて、美人が多いと思う。しかし、残念なことに、三十代になるとなぜがみんな太ってくる。腹がでている。体型を気にしないように思う。こちらの人は、音楽とダンスが大好きで、それ以外は何も気にしないのかも。

